

第3回所内検討会（検証保育計画・検証授業計画）

当教育研究所では、研究を進める中で、その研究の方向性や内容が課題を解決するために妥当であるかを検討する所内検討会を5回開催します。

12月18日(金)に実施した第3回所内検討会は、検証保育計画・検証授業計画が研究仮説等に基づくものとなっているか、指導の手立てが明確か、検証計画は量的・質的変容が評価できる内容となっているかを保育実践や授業実践を考えながらの検討になりました。

それぞれの課題を解決するために、理論に基づきどのような具体的な手立てを組み込んだ保育実践や授業実践を行っていくのか、研究の根幹に関わる「検証保育計画・検証授業計画」について説明する教育研究員の真剣なまなざしが印象的でした。

【所内検討会の概要】

- 1 開会のことば (司会)
- 2 日程の確認 (司会) 10:00 ~ 10:05
- 発表の流れ 一人あたり35分 ①発表(15分) → ②検討(20分)
- 3 各研究員の「研究内容」についての発表

	時刻	発表者	研究領域及び研究テーマ
1	10:05 ~ 10:40	比嘉頼子 長嶺小学校	〈小学校 道徳〉 児童が主体的に取り組み、自らの考えを深める道徳授業作り ~教材の開発・活用と意見交流の場の設定を通して~
2	10:45 ~ 11:20	久高友弥 与那原東小学校	〈小学校 国語〉 自分の考えを広げたり、深めたりする学習指導の工夫 ~「読むこと」における単元を貫く言語活動を通して~
3	11:25 ~ 12:00	富名腰由紀 東風平小学校	〈小学校 算数〉 数学的な思考力・表現力をはぐくむ指導方法の工夫 ~お互いの考えを伝え合う協働的な学習活動を通して~
昼食			
4	13:00 ~ 13:35	上原亜矢 北丘幼稚園	〈幼稚園教育〉 幼児が自ら友達とかかわりながら協同して 遊ぶようになるための環境構成と援助の工夫 ~思いを伝え合うごっこ遊びを通して~
5	13:40 ~ 14:15	波照間生子 大里中学校	〈中学校 理科〉 科学的な思考力・表現力を高める指導方法の工夫 ~「ものづくり」を活かした課題解決学習を通して~
6	14:20 ~ 14:55	伊波ますみ 豊見城中学校	〈適応指導教室〉 学校復帰へ向けたよりよい個別支援の在り方 ~子ども理解と多様な体験活動を通して~

- 4 指導助言
(1) 指導主事 大城美恵子 (2) 指導主事 佐久本広志 (3) 主任指導主事 羽根田幸江
- 5 所長のお話し 所長 上原雅志
- 6 閉会のことば (司会)

第3回所内検討会を終えての感想 (研修日誌から)

- 実践型の研究なので、もう検証が始まっていますが、幼児につけたい力、育てたい力は何か、その姿に立ち止まることが大切だと思いました。そこで研究テーマの設定理由に記述できるように修正していきたいと思います。(上原亜矢)
- 上原所長や先生方、研究員から色々な指摘を受け、とてもためになりました。来週から指導案を修正していきます。(比嘉頼子)
- 所内検討会では、またもたくさん教えてもらい、自分の勉強不足が実感できました。しっかり教えてもらったことを忘れないうちに直してより良い報告書にしたいです。(久高友弥)
- 所内検討会では授業実践について発表しました。本時の授業仮説が研究仮説と同じだったことや児童観の文章表現が重複していた点、アンケートの内容から教師としてどんな手立てをするのか等、他にも誤字脱字、フォント等修正する箇所がたくさんありました。提出期限までに練り直して修正できるように頑張ります。(富名腰由紀)
- 所内検討会での「ものづくり」と「教材」の違いをやっとはっきり把握できました。自分でかいた研究報告書をもても自作の教材(ものづくり)としているので、やっぱり「教材」という意味合いが大きいと思います。25日の再提出までに理論の方の手直しと指導観に凸レンズまで加えた手直しをしていきます。(波照間生子)



写真1 所内検討会の様子



写真2 発表の様子